

学 科	服飾美術専攻	担 当 教 員	田中 孝明 (実務経験あり)		
授 業 科 目	テキスタイルデザイン論		科目区分	専門科目	2 単 位
必修・選択	選択	授業形態	講義	開 講 時 期	1, 2 年次・後期 (隔年)
授業の主題 目 標	<p>学生は次の内容を修得する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的なテキスタイルの素材, 製法を学びとる。 2. 近代から現代までのテキスタイルの動向を考察する。 3. 現在のテキスタイルデザインの立場からファッション及びインテリア市場を調査研究し, 動向を考察する。 				
授業の内容 進 め 方	<p>テキスタイルデザインの基礎となる理論と古代から現在に至るテキスタイルデザインの記録及び作品を基に歴史的発展と表現形態を時代別・民族別に追及し, デザインの意義を考察しながら以下の授業を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. テキスタイルデザインとは? 2. テキスタイル素材 (麻・綿) 3. テキスタイル素材 (綿・ウール) 4. テキスタイル素材 (化学繊維) 5. テキスタイルにおける製造工程 (敷物) 6. テキスタイルにおける製造工程 (壁面装飾) 7. 歴史の発展・時代別の考察 (アジア) 8. 歴史の発展・時代別の考察 (日本) 9. 歴史の発展・紋様の考察 10. テキスタイルデザインの展開 11. テキスタイルデザイン研究 (織物) 12. テキスタイルデザイン研究 (染め) 13. テキスタイルデザイン研究 (編み) 14. テキスタイルデザイン研究 (独自表現) 15. テキスタイルデザイン研究 (加工) <p>定期試験は実施しない</p>				
実務経験を 活かす内容	企業における商品開発の実務経験を活かし, デザイン企画, 素材, デザイン作成に関しての内容を講義します。				
テ キ ス ト 教 材	「テキスタイルエンジニアリング [1] 原料から糸へ」を参考にする。 資料を配布する。				
準備学習の 具体的内容	課題において, 授業前の資料収集などを求める場合がある。				
評価の方法 基 準	期日指定のレポート (80%) 授業への取り組み (20%)				
履 修 上 の 注 意	提出物は期日を厳守すること。				